

教科名：英語科 【第 2 学年 論理・表現Ⅱ】 ルーブリック評価表

観 点	内容のまとまり	評 価 規 準	評 価 基 準			評 価 方 法
			A	B	C	
知識・技能	書くこと 話すこと〔やり取り〕 話すこと〔発表〕	英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項の意味・用法を理解している。	英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項の意味・用法十分に理解している。	英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項の意味・用法を概ね理解している。	英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項の意味・用法を理解できていない。	定期考査 単語・例文テスト等
		英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項を、コミュニケーションを行う目的や場面、状況など、適切に書いたり話したりすることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などについて、英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項を活用できる技能を十分に身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などについて、英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項を活用できる技能を概ね身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などについて、英語の文法、言語の働き、語彙、表現、音声などに関する事項を活用できる技能を身に付けられていない。	
思考・判断・表現	書くこと	書くことの領域において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要、要点を極めて適切に捉えている。	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要、要点を極めて適切に捉えている。	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要、要点を概ね適切に捉えている。	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要、要点を捉えられていない。	定期考査 ライティングの取り組み プレゼンテーション等の取り組み
	話すこと〔やり取り〕 話すこと〔発表〕	話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕の領域において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や、社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えている。	日常的な話題や、社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基にスピーチを構成し、基本的な語句や文を用いて論理性に十分注意して発表し、また考えや気持ちなどを極めて十分に伝え合うことができる。	日常的な話題や、社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基にスピーチを構成し、基本的な語句や文を用いて発表し、また考えや気持ちなどを概ね伝え合うことができる。	日常的な話題や、社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基にスピーチを構成し、基本的な語句や文を用いて発表し、また伝え合うことができない。	
主体的に学習に取り組む態度	書くこと 話すこと〔やりとり〕 話すこと〔発表〕	書くこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕の 3 つの領域において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、積極的に主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、概ね主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしていない。	定期考査 授業への取組 課題の取り組み
			パフォーマンス・テストや課題の取組、振り返りを通じて、言語活動の取組に関して、見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を極めて自覚的に捉えようとしている。	パフォーマンス・テストや課題の取組、振り返りを通じて、言語活動の取組に関して、見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を概ね自覚的に捉えようとしている。	パフォーマンス・テストや課題の取組、振り返りを通じて、言語活動の取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えようとしていない。	